

## 気管支喘息と気候・天候等との関係についてのアンケート調査結果

渡邊 直人, 牧野 荘平

東京アレルギー・呼吸器疾患研究所

**【背景】**気管支喘息患者(BA)は気候・天候の変化や温度差などによりしばしば状態悪化(咳嗽, 喘鳴, 呼吸困難)する。

**【目的】**今回これらの変化によりどのくらいのBAが症状悪化を感じているかを調査した。

**【対象】**BA 126名 (M: 59, F: 67)。

**【方法】**3年以内の状況についてアンケート調査を行い解析評価した。

**【結果】**問1. 安定BAは95名(75.4%)であった。問2. 温度・気温差で悪化したBAが74名(58.7%)で, うち寒い時が61名(82.4%)であった。問3. 冷気により悪くなったBAが42名(33.3%), 砂埃21名(16.7%), 煙霧15名(11.9%)と回答した。問4. 天候で悪くなるBAが46名(36.5%)で, うち台風26名(56.5%), 雨17名(37.0%)の順に高かった。問5. 季節柄に悪くなるBAは78名(61.9%)で, 冬34名(43.6%), 秋33名(42.3%), 春30名(38.5%)の順で高かった。問6. 花粉症時期には32名(25.4%)が調子を崩し, 問7. PM2.5や黄砂がBA増悪に関与しているのは86名(68.3%)であった。

**【結語】**温度・気温差(特に寒い時)で悪化するBAは約6割認められ, 冷気によって約3割が調子を崩し, 季節で不安定に陥る割合は秋冬が高く, 春は花粉症の影響が含まれていた。

**【考察】**寒さ, 冷気や気圧変化, 季節柄の抗原が気道収縮を誘発させると考えられる。

**【キーワード】**気管支喘息, 咳嗽・喘鳴・呼吸困難, 気候・天候・気圧変化, 温度差, 花粉症, PM2.5と黄砂